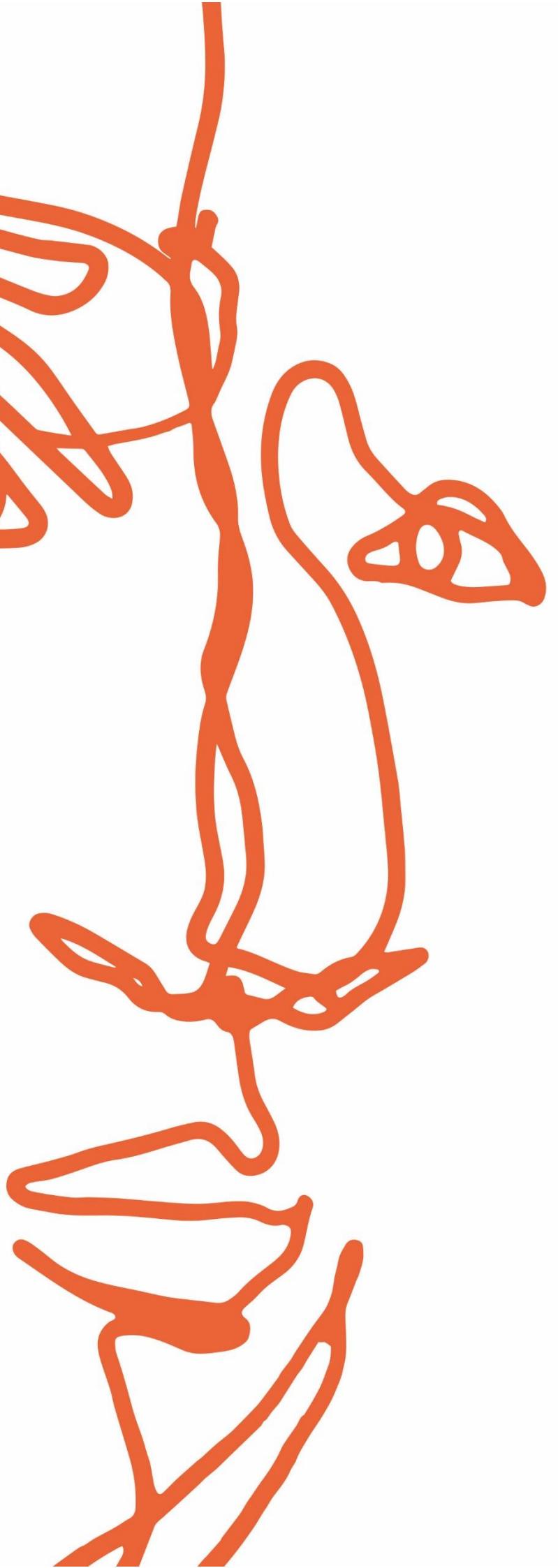




美術科のご案内2020



2020美術科紹介

1.「美術科」の目標

- ◆ 美術やデザインの分野を通じ、社会・文化への貢献に寄与できるスペシャリスト(専門家)を育成する。
- ◆ 芸術分野としての美術・デザインについて、表現と理論の双方から幅広く学び、自己理解・他者理解を深めると共に豊かな情操と感性を養う。

2.「美術科」の特色

① 充実の専門科目カリキュラムと指導

(1) 4つの専攻「日本画」「油絵」「彫刻」「デザイン」

1年次	2年次	3年次
<input type="radio"/> 素描	<input type="radio"/> 素描	<input type="radio"/> 素描
<input checked="" type="radio"/> 絵画(日本画／油絵) <input checked="" type="radio"/> 構成(彫刻／デザイン基礎) <input type="radio"/> 総合探究(CG)	<input checked="" type="radio"/> 日本画 <input checked="" type="radio"/> 油絵 <input checked="" type="radio"/> 彫刻 <input checked="" type="radio"/> デザイン <input type="radio"/> 総合探究(進路研究) <input type="radio"/> 美術概論	<input checked="" type="radio"/> 日本画 <input checked="" type="radio"/> 油絵 <input checked="" type="radio"/> 彫刻 <input checked="" type="radio"/> デザイン <input type="radio"/> 総合学習(卒業制作) <input type="radio"/> 美術史
<input checked="" type="radio"/> 全専攻を履修	<input checked="" type="radio"/> 2専攻を履修 2学期より1専攻	<input checked="" type="radio"/> 1専攻を履修

(2) 制作時間の充実と細やかな指導

- ◆ 確かな観察力と表現力が身につけられるよう、1年次より素描指導に重点を置いています。具体的には、週1回の7,8限授業(15:40～17:30)を展開します。
- ◆ 土曜日には「土曜アトリエ」としてアトリエ施設を開放し、各自の課題にそって制作ができるよう体制をとっています。自立的な制作姿勢を培う場としています。
- ◆ 4専攻を軸に、多くの教員が関わってマンツーマンによるきめ細かい実技指導を展開します。一つの課題に対して複数の教員が指導助言を行うことで、幅広い視野と表現力を養うことができるよう心がけています。

(3) 美術科の専門性

- ◆ 3年間を通して、伝統的な日本画の技法研究、油絵の古典技法、デザインのCG授業や写真実習、彫刻の粘土や鉄を使った立体造形など各専攻の専門性を深めていく授業を展開していきます。
- ◆ 生徒たちが豊かで健全な制作の発想や知識を得られるよう、「美術概論」や「美術史」など美術理論の学習を通して、美術・デザインの歴史や様々な作家たちの精神などを学びます。

② 制作意識を高める

将来にわたりプロとしての真摯な制作姿勢を身につけるためには、集中した制作時間や好奇心を持つ体験は重要です。入学から卒業まで、制作合宿や美術展、また各種コンクール等への積極的な参加と鑑賞活動を通して、生徒たちの視野を広げます。

(1) 1年生夏期制作合宿

毎年、全員参加にて3泊4日で実施しています。絵画(油彩又は水彩)の作品を制作。毎晩、絵画理論や作品講評などを行います。

(2) 1年生東京研修

東京藝術大学の卒業制作展や美術展鑑賞の企画を行っています。校外企画は、生徒たちに大きな刺激と貴重な体験の機会となっています。

(3) ヨーロッパ研修旅行 2019年11月7日～12日

美術科2年生の秋にヨーロッパ研修旅行を実施しています。2019年度は、イタリアにて、ローマやフィレンツェ、ヴェネツィアの3都市を6日間にて訪問し、ヴァチカン美術館やウフィツィ美術館、ヴェネツィア・ビエンナーレまで、約2500年間の新旧の美術品の数々を鑑賞しました。訪問先は、時機を鑑み国内を含め検討します。



ヴェネツィアにて 2019年11月11日

(4) 朝デッサンと朝読書

平日の毎朝「朝デッサン」を1年生全員参加で実施します。2,3年生は各自の制作、学習にこの時間を活用しています。この後は、全校で取り組んでいる「朝読書」に続きます。緊張感と集中力を高める朝となっています。

(5) 「未来の芸術家たち」展

- ◆ 例年、愛知県美術館にて卒業制作「未来の芸術家たち展」を開催してきました。これまで、新聞やテレビ局などのメディアにも取材され、多くの来場者を記録しています。卒業制作は、高校生活の集大成であり、生徒自身にとっては初めての作品発表となる重要な行事です。
- ◆ 卒業制作は、専攻毎に2年生後半から導入が図られ、3年生「総合的な学習の時間」も活用し展開しています。

③ 進路指導

(1) 体系的な進路指導

- ・1年次 社会で働く専門家の話を聞き分野への理解を深めます。
- ・2年次 大学見学や模擬授業等を通して卒業後のイメージをより具体化します。
- ・3年次 大学別ガイダンスや各芸大・美大合格者の作品鑑賞会を通じ、自らの制作目標を明確にします。

(2) 芸大・美大への受験指導

- ◆ 生徒個々の進路希望を尊重し、表現力向上を目指して入試直前まで細やかな受験対策指導を行います。
- ◆ 一般教科の学力補強のために、教科ごとに平日放課後補習や土曜講座、夏期補習などが用意されています。
- ◆ 実技力補強は、本校卒業生主催の芸大ゼミの実施や外部からの講師を招聘しています。

(4) 進路結果 ※ 詳細な経年資料は、P5 表「卒業生の進路状況」参照。

⑤ 美術科入試

(1) 東邦高等学校 美術科 実技試験内容・評価方法・評価の観点

美術科の入学試験では、実技試験を行います。その内容は、推薦入試、一般入試・二次募集とも共通で、以下の要領で行います。

実技試験内容

実技内容	鉛筆素描(デッサン) :「自分の手」に与えられたモチーフを持って描く。
試験時間	140分
用紙	B3画用紙(縦横自由) ※用紙は、本校で用意します。紙の種類:M画紙
用具	鉛筆(3H~3B程度のもの数種類)、消しゴム、練り消しゴム、カッターナイフ(鉛筆を削るため)

試験の評価方法

配点	3教科(国語・英語・数学) 平均100点満点 + 実技100点満点 = 200点満点
----	--

実技試験評価の主な観点

構成力	ねらいを明確にモチーフと手を構成し、画面に、バランスよく配置できている。
形態の把握	比例・量感などを中心とした形態への観察と表現の的確さがある。
色彩、空間などへの感性	色彩や空間の意識など、自然への素直な眼差しや感じ方を持っている。
制作姿勢	対象に迫る粘り強い制作姿勢がある。

過去の実技試験のモチーフ

年度	推薦入試	一般入試
2020年度	自分の手に「牛乳石鹼」を持つ	自分の手に「タレ用ポリ容器」を持つ
2019年度	自分の手に「杓」を持つ	自分の手に「シャトル」を持つ
2018年度	自分の手に「ダーツの矢」を持つ	自分の手に「薬味トング」を持つ
2017年度	自分の手に「クリップ」を持つ	自分の手に「箱入りチョコレート」を持つ
2016年度	自分の手に「風車」を持つ	自分の手に「マーカー(マジック極太)」を持つ
2015年度	自分の手に「三ツ矢サイダー250ml缶」を持つ	自分の手に「エビアン330mlペットボトル」を持つ
2014年度	自分の手に「クノールコーンポタージュ箱入り」を持つ	自分の手に「カップヌードルミニ」を持つ
2013年度	自分の手に「三角柱の箱入りチョコレート」を持つ	自分の手に「ガーナブラックチョコレート箱入り」を持つ
2012年度	自分の手に「軟式ボール」を持つ	自分の手に「透明樹脂コップ」を持つ
2011年度	自分の手に「東邦高校学校生活の手引き」2011年度版を持つ	自分の手に「東邦高校梅の木小冊子」を持つ

(2) 過去の入試合格者作品



4. 東邦美術科のこれまでの主な歩み

平成 3(1991)年	普通科に「美術デザインコース」設置
平成 4(1992)年	「美術科」開設 2クラス体制でスタート(次年度以降1クラス募集に変更) 普通科・商業科・美術科の3学科体制となる
平成 5(1993)年	第1回卒業制作展「未来の芸術家たち展」を開催(於:電気文化会館東西ギャラリー)
平成 6(1994)年	彫刻棟竣工(旧校舎) 美術デザインコース1期生卒業
平成 8(1996)年	第4回卒業制作展は愛知県美術館(芸術文化センター)にて開催(以後、例年、県美術館で開催)
平成13(2001)年	第9回卒業制作展は、新商業科グラフィック・デザインコースも参加(以後、毎年合同展として開催)
平成14(2002)年	「全国美術高等学校協議会」の加盟校(約60校)となる 県内私学唯一の美術高校として、毎年、旭丘高等学校と共に協議会発表に参加
平成19(2007)年	新校舎竣工にともない、特別棟4階に日本画室、油画室、デザインABC3室、素描室、 1階には彫刻室、3階にはマッキントッシュ室等が完成する
平成23(2011)年	2011.12.13現役で3年連続東京藝術大学合格を果たす
平成24(2012)年	12月パリ研修旅行実施
平成25(2013)年	「全国美術高等学校協議会」全国大会を会長校として実施 美術科20周年記念誌を発行
平成26(2014)年	11月ヨーロッパ修学旅行実施(パリにて)
平成27(2015)年	「全国美術高等学校協議会」本部事務局に就任(～2019) 11月ヨーロッパ修学旅行実施(パリにて)
平成28(2016)年	「全国美術高等学校協議会」本校にて臨時総会開催 12月沖縄修学旅行実施
平成29(2017)年	11月ヨーロッパ修学旅行実施(イタリアにて)
平成30(2018)年	8月ドイツ・ブルクギービッヒエンシュタイン美術大学ウルリッヒ・クリーバー特別講義 11月ヨーロッパ修学旅行実施(イタリアにて)
令和元(2019)年	ヨーロッパ研修旅行に名称変更(11月イタリアにて実施)

今年は、「美術デザインコース」の開設から29年目となります。96年に及ぶ東邦の歴史の中では新しい学科ですが、毎年、国公立芸大や難関私大をはじめとした美術・デザイン系大学に多くの生徒たちが挑戦し、着実な成果を収めてきました。卒業生たちの多くは、作家やデザイナー、漫画家、キュレーター(学芸員)、美術教育の指導者などとして、専門分野で活躍しています。



5. 卒業生インタビュー

加藤愛理さん 東京藝術大学美術学部日本画専攻1年生

平成30（2018）年度卒業

美術科では、同じ夢をもつ人に出会うことができます。ライバルであり、尊敬する仲間でもありました。最後まで走り続けられたのは、彼らの存在に恵まれたからです。また、とても素敵なお先方がいらっしゃいます。毎日、相談にのっていただき、どんな時も力になってくださいました。

あの頃学んだことは、今、私の生きる強さになっています。何より、芸術に特化したチャンスが多いのも美術科ならでは。芸術を愛する者には最高の環境です。ぜひたくさん思い出を作ってくださいね。



佐藤日向さん 東京藝術大学美術学部油画専攻1年生

平成30（2018）年度卒業

私は、美術の知識が何もないまま東邦に入學し、卒業してから1年浪人していましたが、その間技術力の不足に悩むことはありませんでした。東邦での3年間で基礎をしっかりと身につけることができたからです。そのおかげで、浪人中「自分の表現したいことは何なのか」だけを考えていらされたのは、藝大に合格する上でとても大きかったと思います。私は、自分が東邦でそうしてもらえたように、美術を目指す人を手助けできるような仕事に将来つきたいと思っています。



6. 美術科の生徒達の活躍（2005年度～現在までの在校時より）

第23回全国絵画公募展IZUBI優秀賞(2005)／第5回佐藤太清賞公募美術展 福知山市長賞(2005)／豊田市美術展 豊田市長賞(2005)／第15回学生CGコンテスト動画部門奨励賞(2009)／デジスタ・ティーンズ第2回放送(2009)／全日本アートサロン絵画大賞展 優秀賞(2009)／大王大賞展 入選(2010)／あいちの教育に係るシンボルマークデザイン 優秀賞(2012)／毎日新聞社主催 第4回若者よ、新聞を読もう!コンテスト 優秀賞(2012)／大王崎大賞展 秀作(2013)／豊明市民美術展彫刻部門 豊明市教育委員会賞(2013)／東アジア高校生美術展 入選(2013)／游心会 登続社社長賞(2013)／中日書道展 佳作(2013)／ゆきこま会ペルー、アルゼンチン公演(2013)／名古屋少年少女合唱団ロシアコンクールカテゴリー8.9予選ともに1位 本選/聴衆賞(2013)／日本トルコ文化交流会主催 第2回中高生のための作文・絵画コンテスト高校生絵画部門 最優秀賞(2014)／高校生国際美術展 奨励賞(2名)(2014)／名古屋学芸大学主催高等学校ファッショントレーニングコンテスト 奨励賞(2014)／平成26年度長久手市文化の家 絵画コンクール一般の部 入選(2014)／クエストカップ2014全国大会出場(2014)／デザインコンペティション入選(2014)／放送部東海ラジオ放送主催第44回高等学校ラジオ作品コンクール番組制作部門 奨励賞(2014)／高校生国際美術展 優秀賞(1名) 佳作(2名)(2015)／さんぽう進学ネット 高校生イラストコンクール佳作(2015)／第17回高校生国際美術展 奖励賞(2016)／少年ジャンプ 第107回 トレジャー新人漫画賞 準入選 グランドトレジャー賞 増刊掲載(2016)／週刊少年ジャンプ特別編集増刊 ジャンプGIGA 2016vol.3『BUDDDA!!!』掲載(2016)／写真部 第23回全国高等学校写真選手権大会写真甲子園2016公開審査会東海ブロック 出場(2016)／第54回豊田市民美術展 洋画の部 豊田市教育委員会賞(2016)／第18回高校生国際美術展 佳作(2017)／写真部第13回昭和シェル石油環境フォトコンテスト 学校団体優良賞(2017)／高校生アートグランプリ2017入選(2017)／第24回全国高等学校デザイン選手権大会2017学校賞『ボウキレーション』入選(2017)／第19回高校生国際美術展 奖励賞(2018)／絵かきの町・大王大賞展「第11回絵画展」秀作(2名)(2018)／カードアート大賞展2018団体賞、入選(2名)(2018)／第25回全国高等学校デザイン選手権大会2018入選(2018)／全国高等学校ファッショントレーニングコンテスト 準グランプリ(2018)／第五回大阪トルコ日本協会主催絵画コンテスト サクラクレパス賞(2018)／森と湖の絵画コンテスト銀賞(2018)／第19回高校生国際美術展 奖励賞(2018)／東京アナログ HP掲載(2018)／ソードアート・オンラインフェイタル・パレットオリジナルキャラクター採用(2018)／第33回 WE LOVE トンボ絵画コンクール銀賞(2018)／愛知私学美術展中日新聞社賞(2019)／第16回千修イラストレーションコンテスト入選(2019)／グループ展多数

7. 美術科の卒業生達の主な活躍

GDEPOD所属／ね金魚を作成・発売／日本美術院 院友／白日会 会員／東京都町田市立版画美術館 作品収蔵／長野県佐久市立近代美術館 作品収蔵／京都迎賓館の調度品 制作参加／春日大社 春日若宮おん祭り絵巻奉納・制作助手／子供を対象にした被災地支援に参加／サン・ヴァンサン大聖堂模写展 出品／株式会社スタジオジブリ入社／伊勢現代美術館 個展／アーティスト／アートディレクター／LANDSCAPE DESIGN／アトリエ主催／CANON写真新世紀 優秀賞(1999)／アートアワードトーキョー 長谷川祐子賞(2008)／愛知県立芸術大学 優秀学生賞(油画)(2009)／VOCA展出品(2010)／VOCA展佳作(2011)／東京藝術大学修了制作 首席(日本画)(2011)／第36回全国版画展 買上賞(2011)／JAGDA年鑑 入選(2012)／東京ADC賞(2012)／TEDU TOKYOステージデザイン担当(2012)／イメージフォーラムフェスティバル 優秀賞(2012)／あいちトリエンナーレ2013出品(2013)／FUTURECONVENIENCE STORE CONTEST2016 最優秀賞(2016)／週刊少年ジャンプ特別編集増刊 ジャンプGIGA 2017vol.1『DOGS』掲載(読切)(2017)／週刊少年ジャンプ49号『グリム・リーパー』掲載(特別読切)(2017)／「ミュージアムの女」株式会社KADOKAWA出版(2017)／「第2回アーティスト・イン・ミュージアムAiM2017」岐阜県美術館展示(2017)／一宮市三岸節子記念美術館ワークショップ開催(2017)／名古屋市美術館 常設企画展 開催(2017)／「ピカレスクセブン」サンシャイン劇場(2018)／少年ジャンプジャンプGIGA2018SUMMER vol.1~3『NORA-ノラ-』第1~3話掲載(初連載)(2018)／少年ジャンプGIGA2019WINTERvol.3『MOON LIGHT』掲載(読切)(2019)／りぼんまんがスクール+ 準りぼん賞(2019)／りぼん6月特大号『君の世界におちていく』掲載(読切)(2019)／第13回CBC翔け!二十歳の記憶展 グランプリ(2019)／あいちトリエンナーレ2019情の時代 参加アーティスト(2019)／『美術館に行ってみた(挿絵)』埼玉福祉会出版部(2019)

